

資料 1

担当：花と緑の推進室 伊勢久美子 電話0279-22-2219 内線4796

件名：「花と食と観光を結ぶフォーラム」の実施について (花と緑のぐんまづくり2011in渋川開催記念関連事業)

花と緑のぐんまづくり2011in渋川の開催を記念し、花や食を活用したまちづくりを進め、交流人口の増加や観光ネットワークの構築につなげていくことを目的に、「花と食と観光を結ぶフォーラム」を開催します。

フォーラムは3部構成で実施し、第1部では日本のまんなかしぶかわ観光大使の森永一衣さんのミニコンサート、第2部では東京農業大学、小泉武夫名誉教授の基調講演と花や食、観光の分野でご活躍いただいている3名による事例発表を行い、第3部では「地元食材を活用した食の交流会」を行います。

1 開催日時 平成23年11月29日(火) 午後1時～7時30分

2 開催場所 渋川市民会館(渋川市渋川2795)
・大ホール〈コンサート、基調講演、事例発表〉
・小ホール〈交流会〉

3 内容

[第1部] 花と緑のぐんまづくり2011in渋川開催記念 森永一衣ミニコンサート

- ・開催時間 午後1時～1時45分
- ・開催場所 渋川市民会館大ホール

[第2部] 花と食と観光を結ぶフォーラム

- ・開催時間 午後2時～5時10分
- ・開催場所 渋川市民会館大ホール
- ・内容及びスケジュール

□午後2時10分～3時20分 基調講演

講師：小泉武夫(東京農業大学名誉教授)

演題：「郷土食の魅力、食で地域の活性化を！！」

講師紹介：東京農業大学名誉教授、農学博士、文筆家。福島県生まれ。専門は醸造学、発酵学、食品文化論。

「健康や老化の防止は発酵食品に宿る」として百冊以上の著書を執筆。日本経済新聞の夕刊にコラムを掲載し、多彩な表現で好評を得ている。主な著書に、『食あれば楽あり』、『中国怪食紀行』、『食に幸あり』、『食に知恵あり』、『小泉武夫の美味しいもの歳時記』など。

現在、鹿児島大学、琉球大学、広島大学、別府大学、新潟薬科大学、石川県立大学の客員教授を務めている。

資料 1

□午後3時30分～5時10分 事例発表

【1】テーマ：感動をお渡しするために！！

発表者：足利フラワーパーク 園長 塚本こなみさん

発表者紹介：静岡県生まれ。(株)環境緑化研究所代表取締役、(株)グリーンメンテナンス代表取締役、あしかがフラワーパーク園長。「人間が快適に生活するためには花や緑にやさしいまちづくりが必要」との理念のもと、様々な自治体や公園等の審議委員、運営指導等を行っている。日本女性樹木医第1号。日本花の会フラワーアドバイザー。

【2】テーマ：地元食材の活用によるまちの活性化について

発表者：川越「いも膳」 店主 神山正久さん

発表者紹介：今日ブームとなっているサツマイモ会席の草分けの店として、全国に名を馳せる「いも膳」の店主。様々なアイデアによるサツマイモ料理の創作だけでなく、平成元年、自店の敷地内に開設した『サツマイモ資料館』には年間3万人以上が訪れ、地元食材をまちの活性化にいかす活動を進めている。

【3】テーマ：東京への情報発信とマスコミの活用について

発表者：ぐんま総合情報センター 所長 宮崎信雄さん

発表者紹介：中之条町生まれ。四万温泉観光協会事務局長としてマスコミを活用したPRに手腕を発揮し、四万温泉、群馬の魅力を全国に向け発信した。現在は、ぐんま情報センター（通称：ぐんまちゃん家）所長として、これまでの実績、人脈を活かした様々な仕掛けやユニークな取り組みを行っている。

[第3部] 地元食材を活用した食の交流会（お楽しみ抽選会もあり）

- ・開催時間 午後5時30分～7時30分
- ・開催場所 渋川市民会館小ホール
- ・参加料 2,000円（当日徴収）
- ・定員 200名（先着順）

4 参加呼び掛け及び申込方法

- ・広報しぶかわ11月1日号により市民に周知
- ・参加申込方法 郵便、FAX、電話で花と緑の推進室へ申し込む
（〒377-8501 渋川市石原80番地・電話22-2219・FAX22-2132）

※第3部の「地元食材を活用した食の交流会」の参加は、第2部の参加者に限り
ます。

5 申込期限 11月15日（火）